

を問う!



質問 総合戦略策定から3年が経過。残された観光振興の課題にどう取り組むのか

町長 交流人口を増やすべく、町の魅力を旅行会社に提案し、民間によるツアーを企画、実施していく。

Q 観光PR等拠点会議の協議を経て、町の活性化につなげるための協議会を立ち上げるべきでは

A 町民の意見を大切にしたいと考えていることから、協議組織について設置を検討する。

質問 豪雪に対する対策を

町長 ハウス被害に対する支援は、管理の状況や強度、使用年数が異なるため行わない。融雪剤購入費の一部助成については、JAピンネと足並み揃えて実施する。

Q 農業者がやる気を出せるような支援をすべきではないか

A 基幹産業の農業者が不安なく安定的に農業経営をするために、JAピンネと協議をして融雪剤の助成が望ましいと判断した。



白石議員

質問 LGBT（性的少数者）の方たちへの理解を深める取り組みは

町長 現在のところ、町独自の周知活動を行う計画はない。LGBTの方を含め、子ども、高齢者など全ての方が互いを尊重できる社会の構築を目指していく。

Q 人権問題として多くの自治体同様、本町でも取り組むべきでは

A LGBTに特化した形ではなく、町民全ての方を対象に人権擁護の取り組みを実施していく。

質問 札沼線の存廃問題について、JRと協議入りを決断した経緯は



進藤議員

質問 奈良県、十津川村との三者協定を今後、どう取り組んでいくのか

A 東京日本橋の奈良県アンテナショップに特産品販売ブースを常設。JAならけんが運営する大型店舗に新十津川コーナーを設置し本町特産品をPRする。また、奈良県から本町宿泊施設に宿泊された方に本町の特産品を提供する。

質問 事務処理ミスに対する町長の責任の取り方は

町長 本件については職員の故意、不法行為といった悪意のあるものでないことから、私自らが公の場において説明責任を果たし謝罪すること、二度と



青田議員

町長 存続させた場合の年間赤字額、JR北海道からの廃線後の代替交通への支援意向、他の道内維持困難線区と同時期では廃線後の条件交渉が困難となりえることを考慮し決断した。

Q 今後、町民にどのように説明し、また町民の意見を聞いていくのか

A 協議入り発表直後に「新十津川駅を勝手に守る会」の方々に説明。今後の協議の内容を鑑み、しかるべき時期に町民に説明する。

Q オール北海道の視点で、北海道の鉄路を検討する取り組みは

A 北海道の線路のあるべき姿を考えるワーキンググループがあり、北海道全体の交通ネットワークについて検討している。

質問 学校における働き方改善の取組は

教育長 夏期休業中と年末年始を完全閉庁日とし、部活動についても休養日とする。月に1回以上は、土日祝祭日に休養日を設けていく。ICT活用による授業準備等の短縮、校務支援システムの導入による事務処理の時間短縮などを順次進めていく。

質問 少子化の現状と学校のあり方について

質問 発生させないための執行体制を築くことが私の責任と判断した。

町長 小児科医療過疎地となった現状への考えと、解決に向けた取り組みは

Q 医療機関の減少は見られるが、砂川市立病院をはじめとした受入体制は整備されており、中空知地域は医療過疎とは考えていない。

質問 スポーツ等で活躍した子ども達を町全体でたたえ、町内外に知らしめる取組は

教育長 町広報、新聞等報道機関に伝え、町内外へ周知するとともに、役場庁舎、中学校などで懸垂幕や横看板等で掲示をして周知を図っていく。